



“岩国市神東地先におけるリサイクル資材を活用した藻場・生態系の創出プロジェクト”での二酸化炭素吸収（ブルークレジット）の購入報告

弊社では、岩国市の神代漁協協同組合が主体となり岩礁性藻場生育基盤を造成で創出され、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合により認定された二酸化炭素吸収（ブルークレジット）を17t（CO2）購入しました。この購入量は広島県内企業としては最大量になります。弊社は、事業活動として社会貢献度の高い環境分析・調査を実施しており、今後も地球温暖化防止対策とともに瀬戸内海の生態系の保全と水産資源の増加に役立つ活動を支援していきます。

プロジェクト名	岩国市神東地先におけるリサイクル資材を活用した藻場・生態系の創出
プロジェクト実施者	神代漁協協同組合、宇部工業高等専門学校、JFEスチール株式会社
プロジェクト概要と二酸化炭素の吸収量	リサイクル資材である鉄鋼スラグ製品を用いて約3.6ヘクタールの岩礁性藻場生育基盤造成を行った。海藻藻場の創出及びそれによる海草藻場の拡大によって二酸化炭素の吸収量が4年間で79.6t増加した。
生態系の保全、水産資源の増加向上	海域で吸収される二酸化炭素は、固定される年月が森林よりも長く、しかも、藻場の分布拡大により、生態系の保全と水産資源の増加する。本プロジェクトでは次の効果が推定されています。 海藻藻場によってメバルの漁獲量が1.7t、カサゴの漁獲量が5.4t、いずれも増加し、これらを併せた食料供給の経済価値は4年間で合計約1370万円。海草藻場によってメバルの漁獲量が0.9t、クロダイの漁獲量が2.2t、いずれも増加し、これらを併せた食料供給の経済価値は4年間で合計約420万円。海藻藻場と海草藻場よるCOD浄化量は14.4t。
購入量	弊社が購入した17t（CO2）は、ガソリン換算で7300Lに相当し、弊社の年間使用料の約11%になります。

